

森林環境譲与税を活用した森林整備等の取り組み



令和6年2月
姫路市

1 条件不利地間伐等推進事業

<条件不利地の間伐推進>

- 国庫補助事業対象外のため整備されてこなかった、林業経営に適さない奥山等の条件不利地での人工林の間伐を推進する。



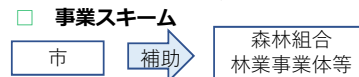
<整備後（安富町関地区）>



<整備後（夢前町小坪地区）>



<間伐実施状況（夢前町地内）>



年度	事業費	実績
令和元年度	1,139千円（全額譲与税）	間伐6.3ha
令和2年度	12,700千円 （うち譲与税8,047千円）	間伐 23.9ha
令和3年度	18,443千円（全額譲与税）	間伐 39.6ha
令和4年度	32,411千円（全額譲与税）	間伐 48.8ha

2 集落周辺森林整備事業

<集落周辺の森林整備>

- 集落に近接する未整備森林において、豪雨、暴風等による倒木の危険性が特に高い人家裏山で危険木伐採・間伐等の森林整備を行う。

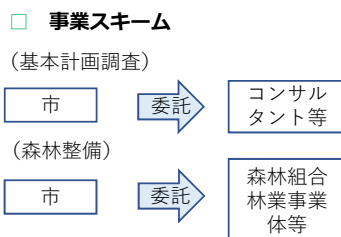


<整備前（香寺町北恒屋地区）>

危険木の伐採
↓
間伐等



<整備後（香寺町北恒屋地区）>



年度	事業費	実績
令和2年度	4,782千円 （全額譲与税）	基本計画調査1.27ha （安富町朽原地区）
令和3年度	10,385千円 （全額譲与税）	基本計画調査1.84ha （香寺町北恒屋地区） 森林整備1.27ha （安富町朽原地区）
令和4年度	18,094千円 （全額譲与税）	基本計画調査2.22ha （香寺町南恒屋地区） 基本計画調査3.55ha （安富町関地区） 森林整備1.84ha （香寺町北恒屋地区）

3 森林作業道機能強化事業

<3.1 森林作業道の機能強化>

- 本市が推進している「壊れにくい作業道」の整備について「路面処理工」、「木製土留工」等の簡易構造物設置費用の補助を行う。



<木製の簡易構造物を設置した「壊れにくい作業道」>



<洗越工>



<法尻土留工（作業中）>



<路面処理工（作業中）>

<3.2 森林作業道の機能回復>

- 令和4年度以降は、間伐を実施するために必要な既設の森林作業道等の機能回復（路面整正、法面保護、簡易構造物の設置等）にも補助の対象を拡充

事業スキーム



年度	事業費	実績
令和2年度	4,981千円（全額譲与税）	作業道開設（簡易構造物設置） 755m
令和3年度	-	-
令和4年度	4,769千円（全額譲与税）	作業道開設（簡易構造物設置） 568m

4 木材活用推進事業

<木材活用の推進>

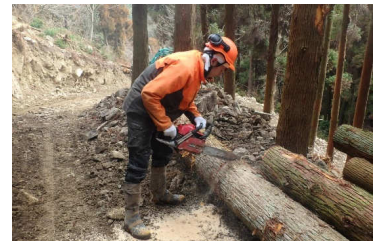
- 木材の活用のために搬出を促進することにより、林業生産サイクルを円滑に循環させ、森林の有する多面的機能を発揮させるとともに、災害に強い森づくりを推進するため、森林経営計画に基づく間伐材の搬出に係る運搬費の補助を行う。



<①伐倒>



<②集材>



<③造材>



<④山土場への運搬>



<⑤木材市場への運搬>

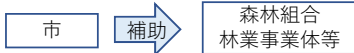


<⑥木材市場>

運搬費の一部を補助

- 国庫補助事業の対象とならない⑤→⑥への運搬費の一部を補助

事業スキーム

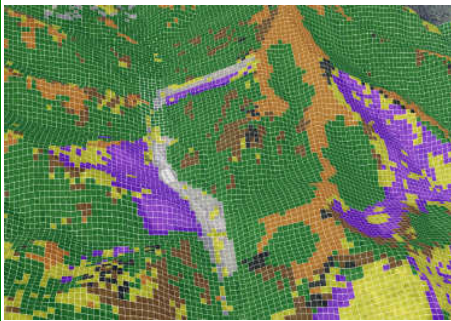


年度	事業費	実績
令和2年度	9,446千円（全額譲与税）	間伐材搬出 9,446㎡
令和3年度	6,801千円（全額譲与税）	間伐材搬出 6,801㎡
令和4年度	2,379千円（全額譲与税）	間伐材搬出 2,379㎡

5 森林資源量等調査解析事業

<5.1 森林資源量等の調査解析>

- 人工林を中心に、森林における航空レーザー計測により、森林資源を調査・解析し、今後の森林整備していく上で必要な情報を収集・把握することにより、森林整備の促進を図る。



<林相区分図>



<レーザー計測成果を活用した作業道計画>

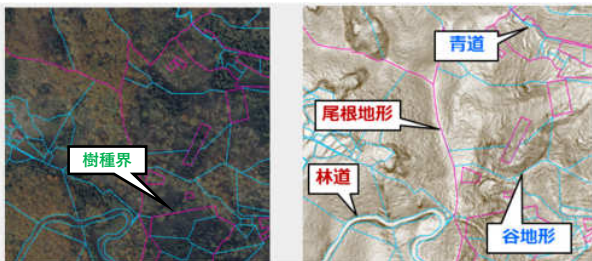
成果を活用
の促進
森林整備



<市有林内に開設した作業道（安富町地内）>

<5.2 林地台帳地番図の作成>

- 境界が不明瞭な森林における間伐を促進するため、航空レーザー計測の成果を活用し、林地台帳地番図を作成する。



<成果を活用し地形・林相を解析→地番図を作成>

事業スキーム

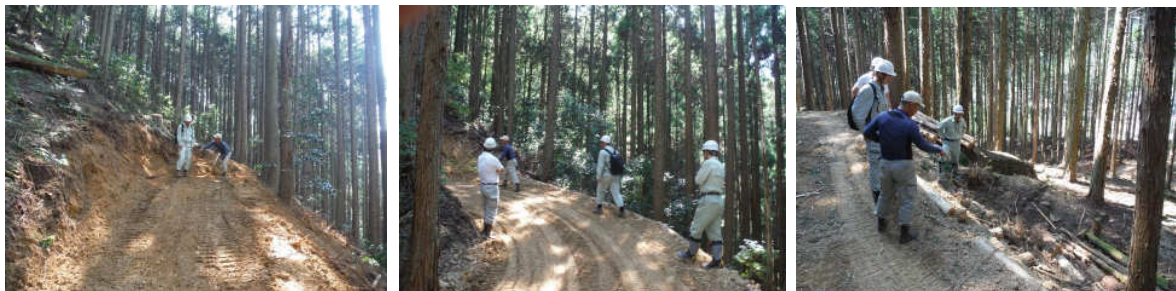


年度	事業費	実績
令和元年度	22,876千円	航空レーザー計測 65km ²
令和2年度	21,901千円	航空レーザー計測 69km ²
令和3年度	44,091千円	森林資源量等調査解析 134km ² 林地台帳地番図作成 42km ²
令和4年度	21,780千円	林地台帳地番図作成 44km ²

6 人材育成・普及啓発

<6.1 県立森林大学のインターンシップ受入れ等による人材育成>

- 県立森林大学のインターンシップ受入れ等、県や森林組合と連携し人材を育成
- 森林環境譲与税等を活用し、林業事業体に所属する者の資格取得費又は研修会、講習会への参加費等を助成することで、林業従事者の確保、定着を図る。



<県立森林大学のインターンシップ受入れ（安富町関地内の森林作業道機能強化事業地）>

<6.2 本市の森林整備等の取り組みPRによる普及啓発>

- 本市の取り組みをPRすることにより、森林環境譲与税を活用した森林整備等への理解を深める。

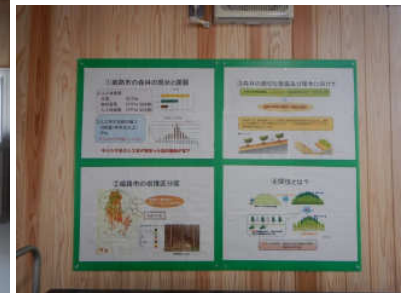
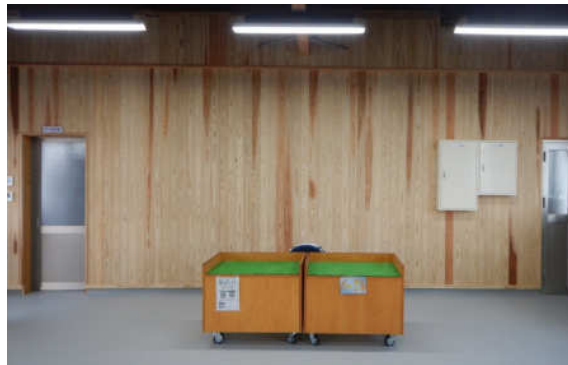


<「農林漁業まつり」でのパネルによる本市の森林整備等の取り組みPR>

7 公共施設等の木造・木質化

<公共施設等の木造・木質化による地域産材の利用拡大（1/2）>

- 地域産材の需要拡大と利用促進を図るため、関係部署と連携して、公共施設等の木造・木質化を行う。



<市産材を利用した農業振興センター研修棟の内装木質化>

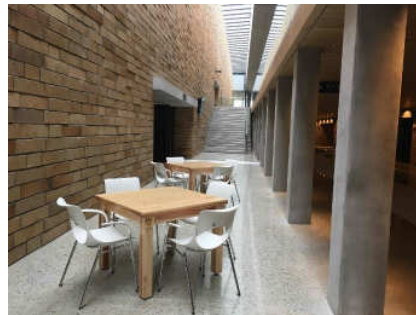


<県産材を利用した書写山観光施設の内装木質化>

7 公共施設等の木造・木質化

<公共施設等の木造・木質化による地域産材の利用拡大（2/2）>

- 地域産材の需要拡大と利用促進を図るため、公共施設等での木材活用を行う。



<市有林の間伐材を利用したテーブルの製作（アクリエひめじ1階ロビー等）>



<市産材の間伐材を利用した椅子等の製作（本庁舎1階）>

事業スキーム



年度	実績
令和2年度	農業振興センター研修棟の内装木質化 市有林の間伐材を利用したテーブルの製作
令和3年度	書写山旧山上駅舎の内装木質化
令和4年度	市有林の間伐材を利用した椅子等の製作



令和6年2月
姫路市農林水産環境局農林水産部林産振興課